

小児の抗菌薬適正使用について

- ✓ 世界的に、抗菌薬が効かない菌（耐性菌）の増加が問題となっています。このため、抗菌薬を正しく使用し、耐性菌の増加を抑制することが求められています。

- ✓ 当院では、今までと同様に、本人の全身状態を正しく見極めながら、抗菌薬の適正使用に努めてまいります。

- ※ 急性上気道感染症（かぜ）や急性下痢症（胃腸炎）は、そのほとんどがウイルス性疾患であり、抗菌薬は効きません。本人の免疫力によって自然に治る感染症です。家庭でも、手洗い、うがい、マスク着用、換気をこまめにして、感染防御に努めましょう。

- ※ 溶連菌感染症、中耳炎、肺炎など、一部の感染症に対しては抗菌薬が必要となることがあります。症状や全身状態、血液検査等により、その必要性を正しく判断して、抗菌薬を適正に使用しています。